

社会科学学習指導案

指導者 迫 眞 也

日 時 平成24年12月1日（土） 第2校時（11：05～11：55）
年 組 中学校第2学年1組 計40名（男子20名，女子20名）
場 所 中学校第2学年1組教室
単 元 「身近な地域の歴史 ー安芸門徒と広島歴史ー」

単元について

今年度からの学習指導要領の改訂により、宗教に関する一般的な教養をはぐくむ宗教教育が重視されるようになった。改訂の要点として、「歴史的分野では、身近な地域の歴史を調べる活動などにおいて、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高める」ことが挙げられている。これを受けて、社会科学学習指導要領の2（1）歴史のとらえ方では、「身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事項とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる」とされている。そこで、今回、身近な地域を学ぶ教材として、広島市周辺地域である安芸国に多く見られる安芸門徒の歴史を取り上げ、中世から近代にかけてのその姿を追っていく形で、対象と視点を切り替えながら単元を構成した。その中で、本時の授業で扱うのは、近代の、移民としてハワイに渡っていった安芸門徒である。宮本(2010)は、近代以降の移民たちの社会にとって、ハワイでの浄土真宗本願寺派をはじめとする「日系」宗教は「日本人」としてのアイデンティティを保持する上で、欠くべからざるものであった、としている。そのような経緯から、本来キリスト教徒の多いアメリカにあって、ハワイでは日本からの移民の力によって建設された仏教寺院、とりわけ浄土真宗の寺院が多く見られる。これは日本各地から多くの移民が海を渡り、ハワイでコミュニティを築いていったことと関係が深い。安芸門徒もそのひとつに数えられる。アメリカの一部であるハワイに数多くの仏教寺院がある、という違和感をきっかけとして、官約移民をはじめとして日本から多くの移民がハワイに移り住んだこと、その中に多くの安芸門徒たちが含まれていたこと、彼らがハワイの地でアイデンティティとしての信仰をもちつづけたこと、そのコミュニティが信仰と共に彼の地に根づいたことを時間軸の中で追いかけていく形で理解させ、最終的には、安芸門徒たちの信仰の力が、異国の地でコミュニティを構成する原動力となったということを考察させたい。

本学級の生徒たちは、普段から授業に参加する意欲が高く、発表に対しても意欲的である。また、得た知識をもとに、自らの意見や考察を文章にまとめることもできる。しかし、これをクラス全体に発表することについてはためらう生徒が目立つ。また、昨年度の地理的分野の学習において、人々のくらしと宗教、あるいは日本のおもな年中行事について学んでおり、伝統的な生活と宗教の結びつきについて、年中行事と宗教の関係など、いくらかの認識をもっていることが考えられる。今年度、2年生に対して指導者が行った「広島大学附属東雲中学校宗教に関する意識調査2012」において、生徒のうち明確に自らの信仰を意識している回答は全体の27.8%であった。また、自らの家庭の信仰についての回答は41.8%が浄土真宗を含む仏教系である。一方で、普段の生活において宗教を身近に感じるかという問いに対しては、30.9%の生徒が身近に感じると回答したものの、具体的にどのようなときに感じるかという自由記述については「クリスマス」「お正月」などが挙げられた。さらに、幸せな生活を送る上で、宗教は大切だと思うか、という質問に対して46.9%が肯定的な回答だったものの、その理由を問う自由記述については「クリスマスにプレゼントがもらえるから」「お正月にお年玉がもらえるから」などの内容が散見される。こうした様子

から、生徒の意識には、催事としての宗教行事に対する理解はあっても、信仰に対する理解があるとはいえず、生徒たち自身の具体的な生活と信仰の心理的距離感は大きいといえるだろう。

したがって、指導については、学習内容を自らとのかかわりの中でとらえさせるため、広島市内にある寺院の写真など、特に導入部について身のまわりの具体的なものから授業内容につなげるようにしている。具体的なイメージをもたせるための手立てとして、アクティブボードなどのICT機器の活用を積極的に行うこととする。また、本時は“身近な地域”についての学習であるが、単に距離が近いという狭い認識で考えるのではなく、広島をルーツとする移民たちがハワイで築いた歴史、という大きなとらえで指導する。身近な地域の歴史を、ハワイに渡った移民たちに投影させられるようにしていきたい。授業展開では「なぜ」疑問を重ねることによって、より深い認識に到達させ、社会的な見方・考え方の深化をはかることを目指す。その際、これまでの授業で得た知識や概念を総動員して答えを導き出せるような発問を設定する。予想や仮説を立てさせる際には、個人思考の時間を十分確保しながら、集団での意見交流を行い、発表させる。

指導目標

1. 安芸門徒を通じて、広島市周辺地域の歴史への理解を深めるようにする。
2. 宗教的な要因の視点から社会的な事象・現象や宗教的な事象・現象をとらえることができるようにする。
3. 安芸門徒について考察・判断し、自分の言葉で表現することによって、歴史の学び方を身に付けるようにする。

指導計画

1. 中世の安芸門徒「なぜ広島では一向一揆は起こらなかったのか」……1時間
2. 近世の安芸門徒「なぜ広島では人口が大きく増加したのか」……1時間
3. 近代の安芸門徒「なぜハワイに多くのお寺があるのだろうか」……1時間（本時）
4. 安芸門徒の歴史をまとめよう「安芸門徒新聞づくり」……2時間

本時の目標

宗教的なつながりがコミュニティを形成する力になっていることに気づく

「学びのつながり」の視点

Ⅲ期社会科においては、生活知と科学知ののぼりおりに重点を置いた授業づくりをめざしている。生徒の身近な地域での寺院や、アメリカやハワイに対する漠然としたイメージを生活知ととらえ、アメリカ社会における信仰とハワイの特異性、移民としてハワイへ渡航していった人たちの置かれた状況の背景にある社会構造を科学知として、その因果を時間的広がりの中でとらえていく。さらに学習を進める中で、移民としてハワイに根づいていく安芸門徒のコミュニティの姿から、信仰という新たな視点が生まれ、生活知と科学知ののぼりおりが実現し、社会認識が深まっていくと考える。

学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点 (◆評価)
<p>1. 導入 (10分)</p> <p><input type="checkbox"/> ハワイの宗教比率を予測する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本では仏教が多いけど、ハワイではどうだ と思うかな <p><input type="checkbox"/> 資料 (広島別院とハワイ別院) の写真を見て 比較する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二枚の写真は、それぞれどんな建物だろう <p><input type="checkbox"/> ハワイにあるさまざまな浄土真宗の寺院の写 真を確認する</p> <p><input type="checkbox"/> 本時の課題を確認する</p>	<p>○日本とアメリカ全体の宗教人口比率を示すこ とで、ハワイではどうかを考えるよう指導する</p> <p>○形状は大きく異なるが、どちらも浄土真宗の 寺院であることを確認する</p> <p>○本来キリスト教徒が多いアメリカで、しかも 人口の少ないハワイにたくさんの浄土真宗の 寺院があることに疑問をもてるよう、資料を 活用することを促す</p>
<h3>なぜハワイには、こんなに多くのお寺があるのだろうか</h3>	
<p>2. 展開 (30分)</p> <p><input type="checkbox"/> ハワイでの仏教の担い手を予想する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハワイでお寺を建てたのは、どんな人たち なんだろう ・なぜハワイにたくさんの浄土真宗の門徒が いたのだろう (個人→班) <p><input type="checkbox"/> ハワイ移民の資料を見て、検証する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ広島からこれほど多くの移民がハワイに 渡ったのだろう <p><input type="checkbox"/> 移民の生活について知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当時の移民たちはどのような生活をしてい たのだろう <p><input type="checkbox"/> 移民たちの信仰の原動力について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜハワイの安芸門徒たちは、熱心に活動 したのだろう (個人→班) <p>3. まとめ (10分)</p> <p><input type="checkbox"/> ワークシートに記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の課題について、自分の意見をまとめて ワークシートに書く <p><input type="checkbox"/> 意見を交流する</p>	<p>○当時、日本から多くの移民がハワイに移り住 んでいたこと、そのうちの大部分が広島から の移民であることに気づくように資料を活用 することを促す</p> <p>○これまでの授業で学んだ広島的地域的特徴を ふまえて考えるよう指導する</p> <p>○資料を用いて、当時の移民のきびしい生活環 境を認識するよう指導する</p> <p>○資料や既習事項、本時の内容を根拠として 意見を構成できるようにする</p> <p>◆ワークシートに本時の授業内容を根拠とした 自分の意見を表現することができたか 【社会的な思考・判断・表現】</p>

参考文献

- 有本正雄. 『真宗の宗教社会史』. 吉川弘文館. 1995
- 岩中祥史. 『広島学』. 新潮文庫. 2011
- 児玉正昭. 『日本移民史研究序説』. 溪水社. 1992
- 広島県. 『広島県移住史 通史編』. 1993
- 宮本洋太郎. 「ハワイにおける「日系」宗教」『東アジア文化交渉研究 別冊6』 pp. 3-9. 関西大学文化交渉学教育研究拠点 (ICIS). 2010.
- 文部科学省. 『中学校学習指導要領解説 社会編』. 2008